

# 「じこくとじかん（時刻と時間）」を わかりやすく解説

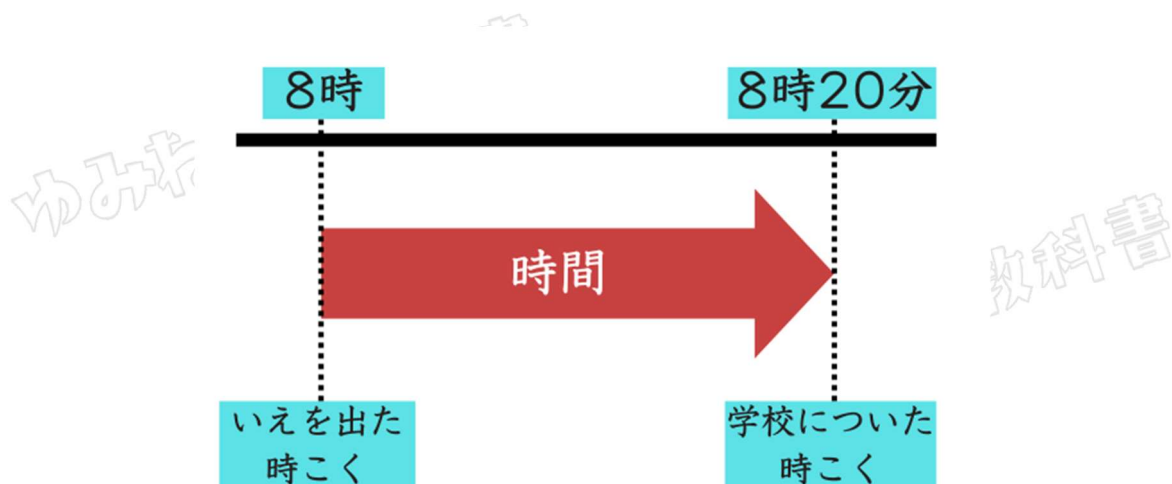
## 「時刻」と「時間」のちがい

「いまは 何時ですか」と聞かれたら とけいを見て 「○時×分 です」って 答えるよね。

このように、あるしゅんかんの ときを あらわすことばが 「時（じ）こく」というんだ。

「いえを 出してから 学校につくまでに かかった時間は 何分ですか」って聞かれたら、 どれだけの 時間が すぎたのか を考えるね。

このように、 ときの 長さを あらわすことばが 「時間（じかん）」というよ。



## とけいが あらわす「時こく」

つぎの とけいが あらわす 時こくを かんがえてみよう。



みじかい はりが 「何時（なんじ）」、長い はりが 「何分（なんぶん）」だったよね。

まずは、みじかい はりは 8と9の あいだに あるよ。

ということは、8時を すぎたけど、まだ9時になる前の 時こくだね。

つぎに 長い はりを 見てみよう。4と5の あいだに あるけど、とけいに 書いてある 数字は 何時を あらわす数字だね。

だから 何分を 見るときは、小さい めもりを かぞえるんだ。

でも、小さい めもりを「1、2、3、4、・・・」って ひとつずつ かぞえるのは たいへんだ。

とけいの 大きい めもりは 「5とばし」の数に なっているから、「5、10、15、20」ってかぞえると いいよ。



つまり、とけいの 4 の数字の ところは 20 分だ。

そこから、小さい メモリを 21、22、23 とかぞえると 分かりやすいね。

こたえ 8時23分

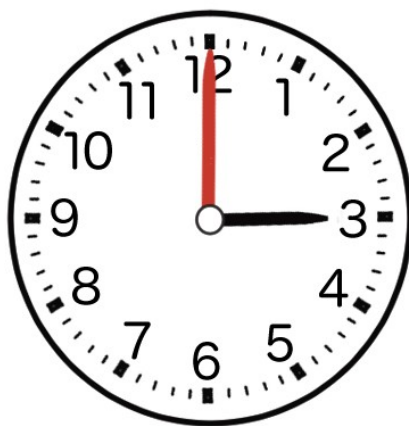
とけいが あらわして いるのが 「時こく」 だね。

## 1 時間は何分？

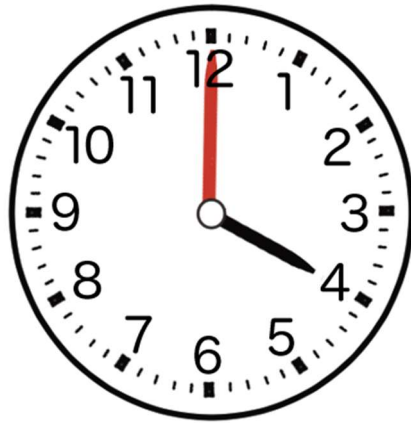
とけいの みじかい はりが 1 つ すすむと 1 時間だったよね。

たとえば、3時から 4時までは 1 時間だね。  
このとき 長い はりは どれだけ 動いたかな？

まず、3時のとけいを かくにんしよう。

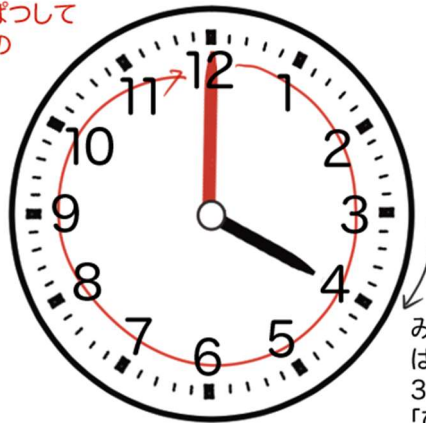


つぎに、4時のとけいを かくにんしょう。



長い はりは、ぐるっと 1しゅう まわっちゃったね！

ながい はり は、  
12から しゅっぱつして  
もういちど 12の  
ところまで  
「1しゅう」  
しているよ。



みじかい  
はり は、  
3から 4まで  
「ひとつ」  
すすんでいるよ。

このとき、とけいの 小さい めもりは 60あるよ。

もちろん ひとつずつ 数かぞえることも できるけど、5、10、15、20、25・・・と 数かぞえると、1しゅう まわると 60になるね。

つまり、1時間は 60分と いうことだね。



$$1 \text{ 時間} = 60 \text{ 分}$$

## 1 日は何時間？

とけいには 1 から 12 までの 数字しか ないね。

じゃあ、1 日は 12 時間ということ なのかな？

朝の 7 時と よるの 7 時。 1 日に 2 回の 7 時があるよ。

そうなんだ！ とけいの みじかい はりは 1 しゅう まわると 12 時間。 それが、 1 日に 2 しゅう しているんだ。

だから、  $12 + 12 = 24$

1 日は 24 時間あるんだね。

$$1 \text{ 日} = 24 \text{ 時間}$$

1 日の はじまりは 真夜中（まよなか）の 0 時。 みんなが ねている 時間だね。

お昼の 12 時が、 1 日の ちょうど 半分（はんぶん）の時間になる ね。

この正午（しょうご）より 前を 午前（ごぜん）、 正午より あとを 午後（ごご）と いうよ。



1日のうち、午前は12時間、午後は12時間あります。

おまけの おはなし

どうして「午前」「午後」というのかな？

むかしの人は、1日の時間を「ね・うし・とら・う・たつ・み・うま・ひつじ・さる・とり・いぬ・い」の「十二支（じゅうにし）」でかんがえていたんだ。

そうすると、「うま」の時間は、11時から13時の2時間のことになるよ。

そして、むかしの「うま」は「午」という漢字をつかったんだ。

11時から13時までのちょうど半分の、おひるの12時のことを、「ちょうど+うま」という意味で「正午（しょうご）」とよぶよ。そして、その「正午」よりも前の時間を、「うま+まえ」で「午前」、  
「正午」よりも後の時間を、「うま+あと」で「午後」というようになったんだよ。

もし、お友だちに「8時に 会おうね」って 言われたら、朝のことかな？ よるの ことかな？

まちがえないように するには 午前、午後をつけて 言うといいね。



## 「かかった時間」を計算しよう

もんだい

たろうくんは、午前8時20分に家を出て、おばあちゃんの家まで行きました。おばあちゃんの家についたのは午前10時です。

その後、午後1時15分におばあちゃんの家を出ました

(1) たろうくんの家から、おばあちゃんの家までかかった時間は、どれだけですか。

(2) たろうくんがおばあちゃんの家に行った時間は、どれだけですか。

考え方

(1)

午前8時20分から午前10時までのかかった時間を考えるよ。

「8時から10時になったから、まず2時間だ!」と考えるのはちょっとまって!!

時間の計算では、長いはり(分)が12をこえるようなとき、時間がくり上がるからちゅういしないといけないんだ。

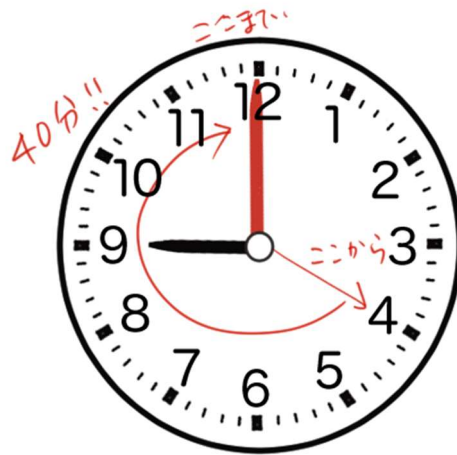
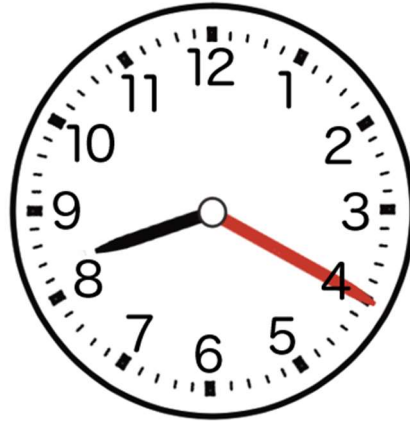
「8時20分から10時00分まで」ということだから、長いはりはずっと12のところまでうごくね。

このようなときは、まず長いはり(分)だけをかんがえて、



キリのいい時間に してしまおう。

8時20分から ちょうど9時までは、 何分（なんぷん）かな？  
 （まよったら、 5、10、15・・・と かぞえてみよう）



8時20分から 9時までは 40分だね。

つぎに、 9時から 10時を 考えよう。 これは かんたんだね！ 1時間だ！

つまり 40分 と 1時間を 合わせて、 1時間40分だ。





ちなみに、1時間は60分だから、 $60分 + 40分 = 100分$ とあらわすこともできるよ。

(2)

たろうくんは、午前10時から午後1時15分までおばあちゃんの家に行ったよ。

今回は長いはり(分)が、12のところからスタートだから、時間のくり上がりは考えなくてもよさそうだね。

このようなときもまずはキリのいい時こく(午後1時)までの時間を考えよう。

10時から1時までだから、「11、12、1」となって3時間だ！  
(12時のつぎは1時だからちゅういしてね)

そして、1時から1時15分までの時間は15分だね。

こたえは、3時間と15分を合わせて3時間15分だよ。

